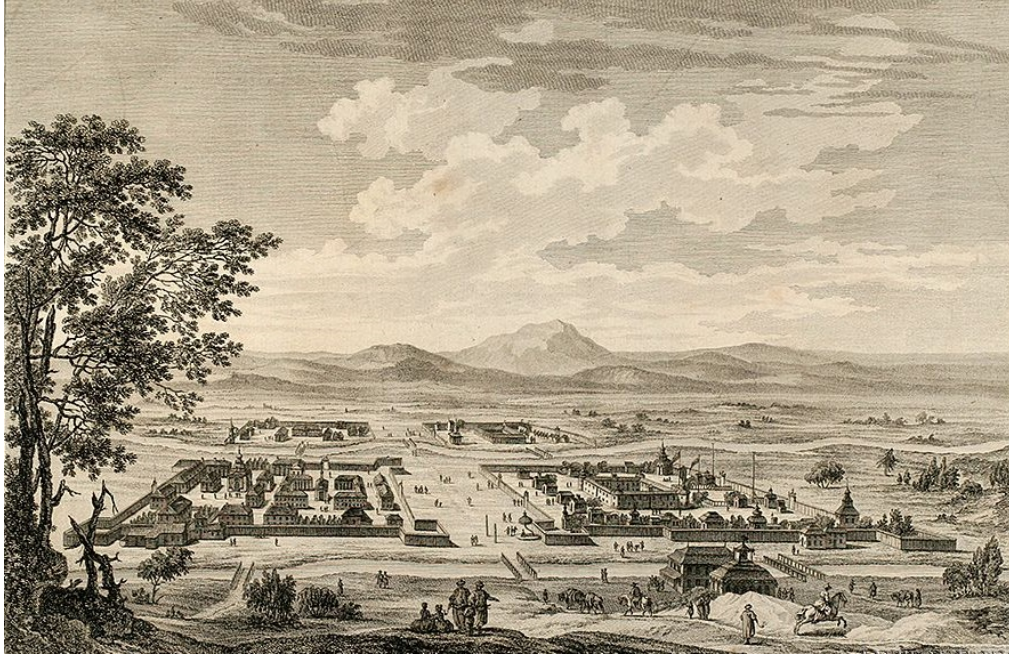


富山大学人文学部 中国言語文化講演会

キャフタ貿易言語——北方のピジン



講演者：高田時雄氏（復旦大学歴史学系教授）



専門：中国語を中心とした言語史研究，敦煌寫本などの文献研究。

略歴：京都大学文学部卒業。1976年～1980年，フランス社会科学高等研究院で学ぶ。帰国後，小樽商科大学、京都大学教養部を経て，1989年，京都大学人文科学研究所言語史講座に移り，2014年3月退職。京都大学名誉教授。2015年9月より現職。

著作：『敦煌資料による中国語史の研究—一九・十世紀の河西方言』（東洋学叢書 33，1988，東京：創文社），《敦煌・民族・語言》（2005，北京：中華書局）ほか多数。

概要

マカオ、香港に生まれ、上海で発展をとげた Chinese pidgin English、いわゆる「洋涇浜英語」はピジン言語として有名だが、清代、露清交易の中心地キャフタで山西商人とロシア商人のあいだに用いられたロシア語をベースとする一種のピジン、「キャフタ貿易言語 (Kyakhta trade pidgin)」は、ほとんど知られていない。山西商人が用いた言語マニュアルによって、この言語の歴史的背景と特質を一瞥する。

2016年8月3日(水)14:00～16:00

於富山大学人文学部 1階 大会議室

問い合わせ先：富山大学人文学部東アジア言語文化講座 (moriga@hmt.u-toyama.ac.jp)